

みてんか

まつさか市議会だより

vol.111

2026.9.1

「みてんか」は電子ブックやPDFでもご覧いただけます。



クローズアップ

令和8年6月定例会（6月12日～7月3日／会期22日間）

中学校部活動の地域展開を改めて考える

議案第62号 令和8年度松阪市一般会計補正予算（第2号）

今定例会では、一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正、財産の取得、災害復旧に伴う補正予算、農業委員会委員の任命同意など、暮らしや教育、地域運営に関わる議案が審議されました。

その中で、議案第62号「令和8年度松阪市一般会計補正予算（第2号）」では、民生費、衛生費、教育費に関する補正が行われました。

特に教育費では、中学校の部活動支援に関する予算について質疑が行われました。

今回の部活動支援予算は、全中学校のコミュニティスクールを対象に、備品購入費等を配分するものです。

市からは、一律に配分するのではなく、事業の趣旨に合致する要望を精査し、国の補助金の範囲内で公平に配分するとの説明がありました。

また、積算根拠については、過去5年間の現場調査に基づくものであることが示されました。

質疑では、部活動の「地域展開」とは何を意味するのか、また備品購入の目的をどのように位置づけるのかなどが確認されました。

市からは、部活動を地域との連携により進めることで、質の高い教育効果を実証していく取り組みであり、今後3年間で外部専門家も交えながら、地域学校連携がもたらす効果を検証し、全校展開に向けた仕組みを構築していくとの答弁がありました。



主な質疑・確認事項	答弁・説明の内容
予算の配分方法	全中学校のコミュニティスクールを対象に要望内容を精査し、公平に配分
積算根拠	過去5年間の現場調査に基づき積算
地域展開の考え	地域連携により部活動を進め、質の高い教育効果を検証
今後の進め方	3年間で外部専門家も交え、全校展開に向けた仕組みを構築

今後3年間の検証を通じて、子どもたちにとってより良い部活動環境がどのようにつくられていくのか、松阪市議会としても引き続き注視していきます。

その他の議案等

議案第62号 令和8年度松阪市一般会計補正予算（第2号）

生活保護扶助費 約2億7000万円

過去の生活扶助基準の引き下げを違法とした最高裁判決を受け、国から新旧基準の差額分が支給されます。対象期間は平成25年8月から令和8年3月までの分で、現在受給中の方は原則申請不要です。

議案第63号 令和8年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第1号）

前年度の純利益のうち約7億3000万円を一般会計へ繰出し、一般財源として様々な事業費に活用されます。また、競輪場施設の将来改修に備えた基金6億円の積立てを行います。

議案第73号 令和8年度松阪市一般会計補正予算（第3号）

台風6号により被害を受けた学校施設や道路、農地などの災害復旧に必要な事業費など

令和8年6月定例会 討論

本会議最終日、各議案について採決の前に議員は「賛成討論」または「反対討論」を行うことができます。以下は今回の主な討論です。

議案第 62 号

松阪市一般会計補正予算（第2号）



賛成

学校教育活動支援活用事業費について、松阪市では中学校部活動の地域「移行」ではなく、学校と地域が「連携」する枠組みを進め、コミュニティスクールが主になっていくということがわかった。



賛成

財政基盤の強化が着実に図られている点を評価する。特に競輪事業の収益を市の収益へと還元し、将来世代への責任を果たす形で財政調整基金の充実に繋がったことは意義深い。



賛成

生活保護費の追加支給について、最高裁判決を踏まえて追加支給されることと共に、給付事務に必要な職員の時間外手当も措置されており、自治体と連携して取り組むということの具現化である。

可決

議案第 63 号

競輪事業特別会計補正予算（第1号）



賛成

競輪事業の好調な売り上げは、主としてインターネット投票の拡大によるものが大きい。このような経営努力によって生み出された純利益であることを評価する。

可決

議案第 64 号

松阪市税条例の一部改正



反対

地方税法改正による条例改正だが「防衛特別所得税」の創設があり防衛力強化のための増税と明記されている。市民の平和への願いに反するもので反対する。

可決

議案第 65 号

松阪市印鑑条例の一部改正



反対

マイナンバーカードについて、国は取得は任意であると説明している。本条例で行政サービスがカード保有者を中心に設計されるとすれば、持っていなければ不便、不利益という状況を生み出す危険性がある。

可決

総務企画委員会



競輪収益から 6.5億円の繰入れ・・・ 「ありがたく」財政調整基金に



総務企画委員会は、一般会計6月補正歳入に競輪収益からの繰り入れにより、約6億5000万円を財政調整基金に積み立てることができた点をどう評価するかという問いから始まりました。これに対する財務課の答弁は「非常にありがたく、かつ、財政運営に非常に寄与している」と、そつがありません。

歳出では、築後48年（昭和52年建設）の飯高地域振興局庁舎屋上の空調用冷却塔の緊急修繕のための128万4000円の補正。「大規模修繕が必要となる箇所は把握している？」「トータルな計画は？」。委員の関心は空調機器の部品修繕より庁舎管理全般につい及びがち。答弁の側もこれにつられ「非常に古くて大きな建物。その管理につきましては非常に苦労しているところ。ここ数年は防水工事を実施し、適宜・・・」。

双方、施設の老朽化を心配する思いがそうさせるのでしょうか。が、質疑は議案の範囲（今回は修繕費）にとどめるのが決まりです。

環境福祉委員会



印鑑条例や市立幼稚園条例等の一部改正

今回の印鑑条例一部改正により、在留カードや特別永住者証明書を持つ外国籍の市民は、マイナンバーカードと一体化した特定在留カード、特定特別永住者証明書を任意で申請できるようになります。質疑や議論を通して、希望される方はマイナンバーカード1枚で手続きが完結すること、添付書類の整理や暗証番号の取り扱いも明確化されることが示され、窓口手続きでの効率化が期待されます。

次に市立幼稚園条例一部改正についてです。松阪市では、市立幼稚園・保育園あり方基本方針に基づき、再編・統廃合を計画的に進めています。今回の阿坂幼稚園、港幼稚園の閉園は、総園児数が3年連続して15人を下回った場合に閉園するという基準に基づき、確かな育ちを保障するという教育的観点から、令和8年度末をもって閉園となります。審査では在園児や保護者に寄り添った対応の必要性や、閉園後の施設についても意見が出ました。施設の今後の利活用については現時点では未確定ですが、行政目的での活用を優先しつつ、将来的には状況に応じて判断するとのことでした。





文教経済委員会



補正予算・教育費 3700万円等で、地域と連携

国の補助金を活用した中学校の部活動支援について、備品購入費などの追加補正予算を審査しました。持続可能な部活動の運営体制を構築することで、生徒が将来にわたってスポーツ・文化・芸術活動に親しむ機会を確保することを目的とし、地域と連携・協働した取り組みを目指していくとのことでした。質疑や意見を通して、11校ある全ての中学校を対象とすること、地域やコミュニティスクール等の充実と連携が重要であることが示されました。



まずは3校をパイロット校として進め、一緒に支援をしながら約3年間実証実験等を行っていく。そして、横展開等さまざまな取り組みにつながる形を目指して、約3年後にはひとつの松阪スタイルを作っていきたいと回答がなされました。加えて、今後もコミュニティスクールを充実させ、部活動の地域移行や地域展開ではなく、「地域連携」を柱に教育効果の実証に向けて進めていくと示されました。今後、事業内容の精査とともに、効果的な運用がなされるよう、委員会として注視してまいります。

建設水道委員会



すまい体験館の無償譲渡と災害復旧費補正予算

木の郷町の「すまい体験館」について、これまでの経緯や今後の方針を議論しました。平成15年にモデル住宅として整備され、建築から23年が経過していることから、解体や譲渡が検討されていました。その中で、施設管理委託事業者から無償譲渡の要望があり、市の維持管理負担の軽減や資産管理の観点から、譲渡が最適であると判断。建物の修繕は行わず、現状のまま譲渡するという説明でした。

また、国の補助事業との関係や維持経費についても質疑がなされ、木造住宅の減価償却期間である22年を超えているため問題ないと国から回答を得ていること、市が所有を続ける場合は、修繕などに数百万円、解体する場合も同等かそれ以上の費用が必要になるとの回答がありました。これらの審査の結果、全員賛成で可決すべきものと決定しました。

あわせて、台風6号により被災した公共土木施設の災害復旧費などを含む、令和8年度一般会計補正予算についても審査し、全員賛成で可決すべきものと決定しました。

5月臨時会の 議決結果

○は全会一致、●は賛成多数

☑ 塗りつぶしの●は、賛否が分かれた議案等です。

☑ 議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。

☑ 過去の賛否内訳も議会ホームページから見るができます。



議案 番号	件 名	審議 結果
令和8年度予算 57	一般会計補正予算（第1号）	●
58	専決処分の承認（令和7年度一般会計補正予算（第8号））	●

議案 番号	件 名	審議 結果
条例 59	専決処分の承認（市税条例の一部を改正する条例）	○
60	専決処分の承認（都市計画税条例の一部を改正する条例）	○
61	専決処分の承認（国民健康保険税条例等の一部を改正する条例）	●

6月定例会の議決結果

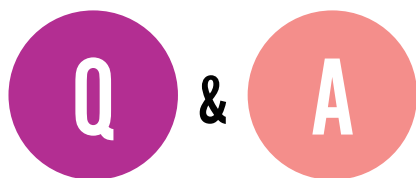
議案 番号	件 名	審議 結果
令和8年度予算 62	一般会計補正予算（第2号）	○
63	競輪事業特別会計補正予算（第1号）	○
73	一般会計補正予算（第3号）	○
条例 64	市税条例の一部改正	●
65	印鑑条例の一部改正	●
66	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○
67	市立幼稚園条例の一部改正	○
68	市総合体育館条例の一部改正	○
その他 69	財産の無償譲渡（すまい体験館）	○
70	財産の取得（市立小学校児童用机）	議案撤回
71	財産の取得（学校給食センターバルランチスチームコンベクションオープン更新）	○
72	財産の取得（市立小学校児童用机）	○
人事 74	農業委員会委員の任命	○
75	農業委員会委員の任命	○
76	農業委員会委員の任命	○

議案 番号	件 名	審議 結果
人 77	農業委員会委員の任命	○
78	農業委員会委員の任命	○
79	農業委員会委員の任命	○
80	農業委員会委員の任命	○
81	農業委員会委員の任命	○
82	農業委員会委員の任命	○
83	農業委員会委員の任命	○
84	農業委員会委員の任命	○
85	農業委員会委員の任命	○
86	農業委員会委員の任命	○
87	農業委員会委員の任命	○
88	農業委員会委員の任命	○
89	農業委員会委員の任命	○
90	農業委員会委員の任命	○
91	農業委員会委員の任命	○
92	農業委員会委員の任命	○

表決がわかれた案件に対する各議員の賛否

議員名 議案番号		至 誠 会						政 風 会					市民クラブ				日本共産党		公 明 党		会派に所属しない議員					
		松原 里穂	森 遥香	野呂 一平	深田 龍	沖 和哉	濱口 高志	松本 一孝	赤塚 かおり	市野 幸男	米倉 芳周	山本 芳敬	酒井 由美	吉川 篤博	橘 大介	楠谷 さゆり	殿村 峰代	久松 倫生	奥出 かよ子	小野 建二	森本 哲生	小川 朋子	田中 正浩	西口 真理	海住 恒幸	
5月臨時会	57	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
	58	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
	61	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×		
6月定例会	64	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×		
	65	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○		

議長 濱口 高志 は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員。



一般質問

6月22日、23日、24日、25日の4日間、19人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

一般質問スケジュール

6/22

市野 幸男
森本 哲生
深田 龍
田中 正浩
海住 恒幸

6/23

吉川 篤博
酒井 由美
久松 倫生
小川 朋子
沖 和哉

6/24

赤塚かおり
米倉 芳周
松本 一孝
橘 大介
西口 真理

6/25

殿村 峰代
奥出かよ子
松原 里穂
小野 建二

- ※ 一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。
- ※ 二次元コードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。（別途通信料が発生します）

一般質問において、一切の内容は各議員の責任において掲載しております。ご了承ください。



政風会



いちの ゆきお
市野 幸男 議員



地域要望に対する行政の在り方

- 問** 過去3年程度の要望件数と実施件数は。
- 答** 令和4・5・6年度要望件数は819・788・768件であり毎年度の実施件数はおおむね63%である。
- 問** 37%は何らかの理由で実施されていないが一度出された要望書の効力は残っているのか、再度提出が必要か。
- 答** 一度に複数のご要望が提出されることがある。緊急性が比較的低く、経過観察が可能な案件については地域の方々と協議を行い、優先順位をつけた上で毎年提出を願いたい。
- 問** 自治会等の負担軽減の為、紙ベースでの要望書提出をオンライン化、また進捗状況をスマホやPCでのリアルタイムで確認できるようにする考えはないか。
- 答** どのようなオンライン手続きが、より効率的に活用、自治会長の負担軽減ができるか取り組みの研究をしていく。
- 問** 振興局の地域の実情に即応できる予算や権限が十分に与えられているか、本庁との連携でボトルネックはないか。
- 答** 決裁権限は各所管の部長などが有する、地域活性化施策については公平性を担保の上で局長の裁量で判断が可能。連携のボトルネックは、早期情報共有と本庁と密な連携を図り、一体となってスピード感のある対応に努めている。



その他の質問

・小中学校の運動会・体育祭の現状と方向性

会派に所属
しない議員

もりもと てつお
森本 哲生 議員



交通安全と自転車通学 市長自ら防災無線で呼びかけ

問 飯南町内の通学路は草が生い茂り 1 台の自転車がやっと通れるぐらいになっている。三重県に草刈り回数を増やしていただくなどの要請を。

答 適切な時期での実施や回数について市の方からも伝えさせていただきたい。

問 交通安全の日に、市長自ら防災無線で呼びかけを行っておられますが、その狙いと理念、願います。

答 松阪市を代表する市長が直接呼びかけることで市民の皆さんに交通安全に対して認識を強くしていただけるものと考えます。

意見 市長の呼びかけも大事だが、小、中高校生の皆さんが交通安全を呼びかけるとか市全体が盛り上げていくことがより交通安全対策を充実させていく。



空き家とごみ対策

問 危険な空き家に可燃ごみや電気製品が放置されている地区の現状がある。市はどのように把握し指導しているか。

答 周辺環境に悪影響を及ぼしている危険な空き家を個別に把握している。

意見 過疎地域にこういう状態が広がらないような対策を。

その他の質問

- ・エバークレイズ香肌の施設管理
- ・柿野、阿坂小学校のエアコン

至誠会

ふかた りゅう
深田 龍 議員



中部台運動公園における植樹と 周辺施設を含めたランドデザイン

問 中部台運動公園の芝生広場と野球場の間にある斜面に桜が植えられている。なぜこの場所に植樹をされたのか。

答 表面がボコボコして、不均一。子どもの安全面から非常に危ない、そういったリスクを回避できると考える。

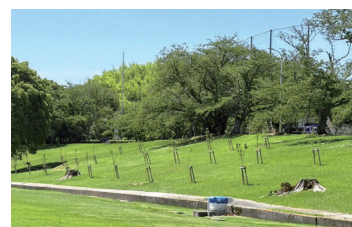
問 もともとあった貴重な市民のアクティビティーや過ごす時間を消滅させてしまうべきではない。利用実態を分かった上で、危険性を鑑みて、植樹をしたということか。

答 ゆっくりと桜をめ度でいただけることを前提として現在の利用状況も踏まえて、あの場所を選定した。

問 中部台運動公園だけでなく、周辺の施設も一体としてデザインしていく発想は重要。このエリアを市民や関係課がワクワクしながら取り組める将来像をつくってほしい。市はどんな場所にしていきたいのか。

答 周辺施設も含めて、駐車場の確保とか利用されていないところの変更も含めてランドデザインを造って、示していく。

意見 アスレチックや使われていない場所とか植樹のデザインをすることも可能だったと思う。移植を求めたい。



▲斜面いっぱいにならぶ植樹された桜

その他の質問

- ・公共施設における営利活動の考え方

会派に所属
しない議員



たなか まさひろ

田中 正浩 議員



体育館避難所空調で 市民の命を守れるのか

問 小中学校体育館断熱工事はなぜやらないのか。エネルギーの垂れ流しでは。

答 今回は断熱改修や遮熱対策の検討は行っていない。

問 事業の基本的な考え方で災害時のエネルギー供給停止でも72時間以上運転可能な設備を選定するとあるが、なぜ72時間運転可能が出てきたのか。72時間以降の燃料供給はどのようにするのか。

答 具体的な想定は現在していない。

問 72時間後、避難所は閉鎖するのか。それとも避難所生活ができるのか。10日、1カ月後、避難所空調機は本当に動くのかを考えて機器設定をするべきでは。

答 72時間自立運転ができることです。

意見 市民が求めているのは72時間だけ冷暖房が使える避難所ではない。災害が長期化しても安心して生活できる避難所。この体育館空調整備事業は、十数年にわたって市民の安全にかかわる重要な事業。この問題を調べている限り、体育館へガスエアコンを入れようとする動きを感じる。本当にそんなことをしても良いのか。ライフコストや省エネ、CO2 ゼロを目指している松阪市の整合性とのずれがある。体育館は単なる建物ではない。災害時に市民の命を守る最後のとりでとなる施設。市は整備ありきではなく、市民の命を守るという原点に立ち返って、行政執行を強く求める。



会派に所属
しない議員



かいじゅう つねゆき

海住 恒幸 議員



オーダーメイドスーツ大量購入 「必要なだけ必要な数、調達」

問 市民病院呼吸器センターはユニフォームとして平成28年度から令和4年5月にかけてオーダーメイドスーツ類を大量購入している。私の計算では94着で約1700万円になる。正確なところを。

答 1679万3896円で105セット調達した。

問 医師11人、秘書4人で、なぜそんな数になるのか。

答 毎年度、毎年度、必要な数だけ必要なものを調達した結果だ。

問 令和元年度はダントツに多く1年間で656万円。どういう必要があってこんなに増えたのか。

答 医師を確保できるかとスーツ対応をした。研修医の数は伸びた。一定の効果はあり必要な対応をした。着用する者の体型が変わったという事案もあった。

問 体型が変われば買っていただけ。値段も8万9000円から27万円まで。ユニフォームでこんなに値段が違うのか。

答 必要があったから調達している。ものが違うから単価の違いはある。

問 どういう手順で購入するのか。

答 購入伺い（起案書）で決裁を取り、認められたら見積りを徴収。見積り結果をもって決裁を取り、業者に発注する。

問 私が見た資料には起案書と請求書が一緒の日というのがあったが。

答 ちょっと承知していない。





子どもと教職員の健康！

問 児童生徒の健康維持や体力向上についての対策がどのように進められているか。

答 学校、家庭、地域が連携し、望ましい食習慣の定着と規則正しい生活リズムの確立に向け、児童生徒の健やかな成長に向けた指導を関係機関と協力し進める。

問 問題行動や不登校に対する対策は。

答 各学校と連携しながら一人ひとりに寄り添った支援と適切な指導の充実に努める。

問 教員の病気休暇の現状とその代替の配置は。また時間外勤務を減らす対策は。

答 病気休職者が9人。代替教員を配置できしており、今後もさまざまな工夫を図りながら人材確保に努め、適正配置を行う。

問 学校の負担軽減の対策と現状は。

答 現在導入している校務支援システムの相談機能を有効に活用し、24時間相談できる体制の充実に努める。



公共施設マネジメントの 進捗状況は！

問 今後の公共施設のマネジメントの具体的な計画は。

答 非常に長期にわたる取り組みで、市民や利用者の理解をいただき着実に進める。

問 再編活性化計画で閉校となった4小学校の今後の活用状況は。

答 4校についてはサウンディング型市場調査を進め、提案を待ち、10課が連携して利活用の創出に努める。



女性の健康課題から考える 誰もが働きやすい職場づくり

問 更年期症状について、女性だけではなく男性にも関わる健康課題として、職員への啓発や管理職研修で取り上げていく考えはあるか。

答 更年期症状は男女とも就労や家庭環境に影響しうる健康課題と認識。先進事例や他自治体の動向も注視し、普及啓発や健康支援の在り方を調査研究したい。

問 既存のF休暇（生理休暇）を維持しつつ、性別や理由を問わず使いやすい休暇制度の在り方について検討できないか。

答 新設・拡充は、国・他自治体の動向や社会的議論の進展を慎重に注視していく。



スマホ時代における子どもたちの 健やかな学びと読書・探究活動の充実

問 子どもたちのスマホ、インターネット利用の実態把握は。

答 SNSや動画を1時間以上見る割合は、小6で54.7%、中3で83.6%と令和4年度比でやや増加傾向にある。

問 スマホ以外の楽しみの1つとして読書に注目したいが、市の取り組みは。

答 第4次松阪市子ども読書活動推進計画に基づき、図書館や学校、読書ボランティア、家庭が相互に連携協力しながら多様な読書活動を推進している。



その他の質問

・市民主体で育てる松阪らしい体験型観光の仕組みづくり

日本共産党



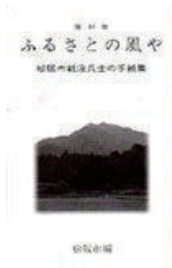
ひさまつ みちお
久松 倫生 議員



「ふるさとの風や」を生かした 平和の思いの継承を

問 戦没者の手紙集『ふるさとの風や』に込められた思いが生かされているか。

答 戦争を体験していない者として平和の願いを次世代に伝えていかねばならないという責務を持って歴代市長の熱き思いを引き継いできたい。



県営南勢志摩水道の受水費見直し にどう取り組んでいくのか

問 来年、県は受水費を見直すと言われている。水道料金に直結する。考えは。

答 7月に企業庁から説明される内容を検証し説得力のある主張をしていく。市民生活が守れるよう努力していきたい。

「市営住宅のあり方に関する 意見書」がどう検証されているか

問 意見書が出て10年。市営住宅管理運営基金が創設された。意見書がどう生かされ検証されているか。

答 長寿命化対策や老朽化住宅の解体を計画的に進め効率的かつ持続可能な市営住宅の維持管理に努めてまいる。

精神障がい者の医療費の補助が 1級までなのはどうしてなの

問 津市は2級までであるのに松阪市は1級までどうして。どう答えたらいいのか。

答 おのおの自治体によって違いはある。市のほうも課題ととらえている。

会派に所属
しない議員



おがわ ともこ
小川 朋子 議員



なぜこの税額？ 確認しやすい課税の仕組みへ

問 固定資産税と都市計画税を合わせると、100億円規模の税収となる。デジタル技術の活用状況と方向性は。

答 デジタル化は非常に有効な手段。業務プロセスの見直しを積極的に図っていく。

意見 分かりやすい情報提供、確認しやすい仕組みづくり、職員の負担軽減にも取り組んでいくことを要望する。

市民とつくる 松阪版介護予防体操を提案

問 1年半実施した「スマートフォンで看護予防」事業の利用状況は。

答 登録者405名、そのうち視聴は1割。
意見 登録したものの利用にはつながらなかった。この事業の経験を生かし市民参加型の松阪らしい介護予防に期待する。

レスパイトケアで 子育て世帯をもっと応援

問 子育て支援事業に家事支援が拡充された。制度の分かりやすさや利用しやすさについてどのように考えているか。

答 本市では複数のチケット制サービスを実施している。プッシュ通知機能やデジタルチケットの発行が可能なアプリの活用など検討を進めていく。

意見 それぞれの対象者や利用方法の統一化、申請窓口を一つにしたりと、保護者の負担軽減は、子育て支援の一つになる。



至誠会



おき かずや
沖 和哉 議員



放課後児童クラブの運営委託 指定管理者制度の現状は？

問 詳細なガイドラインが見えてこない。スケジュールはどうなっているのか。

答 当初のスケジュールから遅れている。保護者アンケートを実施し、丁寧に説明していく。(制度導入は) 令和 10 年 4 月以降になる可能性もある。

問 こども園や幼稚園に通う子の保護者にも聞き取りをすべきではないか。

答 4 歳児、5 歳児の保護者にも回答をもらえる方法を考える。

意見 保育環境を良くするためにも、10 年度に間に合うよう進めてほしい。

LINE いじめも学校が対応すべき 重要問題であり、徹底を！

問 いじめ防止対策では、担任任せにせず、学校単位で積極的な認知と対応をしていくべきだと思うが、見解は。

答 いじめの積極的な認知と早期対応をし、いじめられている子に寄り添う取り組みを進めていきたい。

問 インターネットや LINE でのいじめも学校が対応すべき案件であるはず。むげな対応をされると、子どもは教師や大人を頼らなくなる。組織としてきちんと子どもを守ってほしいが、どうか。

答 子どもの小さな変化を見逃さない体制づくりや情報モラル教育を充実させ、いじめ事案については学校の内外を問わず、対応していく。



政風会



あかつか
赤塚 かおり 議員



食のまち松阪・食文化の 継承と育成・発信

問 松阪牛生産者は高齢化、後継者不足の現状だが、飼育技術継承の取り組みは。

答 肥育技術の伝承は重要な課題である。松阪牛の肥育に従事する地域おこし協力隊を募集するなど人材確保を進めている。

問 農林水産省認定の SAVOR・JAPAN は、訪日外国人を呼び込むための認定制度である。食をテーマにした観光を国内外へ発信するため制度の認定取得が必要ではないか。

答 昨年から旅行事業者との海外の商談にも参加している。今後も松阪でしか食べられない食を目指していく。

子どもの防犯対策と ICT 見守り体制

問 保護者が個人で GPS タグを利用している家庭もある。特に低学年の子どもを持つ保護者は、登下校時の安全に不安を感じている。子どもに見守り端末を持たせ、保護者が携帯電話等のアプリで位置を確認できる ICT 見守りシステムの導入を進める考えはあるか。

答 子どもの安全が確認できるシステム導入は、企業、大学と連携して研究を進めていく。

意見 ICT による見守りと人の温もりを組み合わせながら、登下校の防犯対策を高めていくことが大切である。





学校給食の「量」と 「食事時間」の検討を

問 学校給食について、生徒や保護者からは「量が足りない」「食べる時間が短か過ぎる」といった声がある。特に中学生、成長する時期で、現在の給食量では十分な満足を得られないと。また、食事時間は20分程度の学校もある。急いで食べる状況は、食育の観点からどうなのか。

答 12月のアンケートでは、「果物、デザートが足りない」「給食の時間が足りないと」続き、「量が足りない」は4番目にある意見だった。食事摂取基準で給食を提供している。欠席や配膳の余分など弾力的に対応し、学校給食法に基づく提供を基本と考える。「給食時間」については、今後は、準備の方法など給食時間の在り方を研究していく。

意見 インフラを整えたり、摂取基準に縛られつつも配膳の工夫や選択制の導入で解決策(量)を講じる自治体は結構ある。



飯南・飯高地区風力発電計画の 事業者の変更

問 事業者は株主が変わり別会社になった。住民への報告はない。対照的に市へ新事業者が訪れたと聞く。説明はあったのか。

答 説明を受けた。2つの環境アセスメントは継続していくとの回答。市から計画は地域の合意・理解が得られないと実施できないこと伝え、地域住民が抱える不安や負担を考慮し対応するよう申し上げた。



学校の授業に関すること 授業内容は中立か

問 教育においては、偏った思想を押し付ける事なく、客観的かつ公正な立場に立って指導を行い、児童生徒の判断力や主体的に社会に参画する態度を養う事が重要であると思うが、松阪市の中学校の授業でタブレットに政治批判、政党批判と捉えられる内容を政党機関紙とともに教師の所感を添えて送られていた。これら事実として、どの様に対処され、学校間において共有されたのか、また政治教育としての授業であったのか、個人的または組織的であったのか、長期間行われていたものなのか。

答 本件は、組織的・継続的に行われたものではなく、1時間の授業のみである。

当該教員に対し、学習指導要領に基づいた指導の徹底及び多様な視点から考えられることができる資料の提示について指導を行った。その後、一方的な見解にとどまることなく、複数の視点を示した上で、生徒に考えさせる授業へと改善が行われたことを確認している。政治的中立の確保や適切な教材選定のあり方、議論を深めるために必要な資料、ICTの活用も含め引き続き研究を進めていく。

意見 今後は、教師並びに生徒に対しても、中立的な教育の指導をするようお願いする。





公共交通事業者株主取得事業の進捗

問 公共交通事業者の株式取得について現在の取得状況は。

答 JR 東海は、令和7年度の株価高騰で当初の購入計画を予定どおり完了するに至らず、予算の3分の1に当たる約3352万円分の購入に現在とどまっている。

問 当初予定していた3万株に達成しなかった場合にどうするのか。

答 公共交通事業者の下支えを目的とするのが基本。もしもこのまま下がらないというのであれば、それに達しないということで理解をしている。

問 3万株購入し、株主提案権という話があった。昨年の答弁と大きく違ってくる。

答 目的は下支えであり、これからも推移を見ながら買えるタイミングで取得をしたい。



特殊詐欺被害防止対策

問 トクリュウによる犯罪やSNSを悪用した新たな犯罪から市民を守るため、警察等の関係機関とどのように連携し、今後対策強化を検討していくのか。

答 警察や関連機関と綿密に連携を取り、被害状況の把握や犯罪手口に関する情報共有、啓発などを行っていく。今後も情報共有を密にしながら連携協力していく。

その他の質問

- ・持続可能な地域公共交通の確保について



公開すべき審議会等の議事録が公開されていない件

問 情報公開が市民の市政への参加の基本となるが、最近ホームページで議事録公開が遅い、アップされない状況が沢山ある。これは、誰の怠慢なのか。担当課の意識が低いのか。

答 議員からの通告を受けて確認したところ、かなりの未掲載が判明し、深く反省している。早速、全庁的に周知を行い、ホームページへの掲載を進めている。

問 何件ぐらい更新されたのか。

答 6月16日時点では、915件の議事録のうち94件が未掲載であった。昨日までに87件をアップした状況である。

問 未掲載のまま放置されてきた原因は。

答 担当部局が各原課に周知されていない、職員の制度に対する理解不足が大きかったと考えている。



3基幹病院での深夜帯外来受け入れの評価は

問 令和7年4月から始まった3病院でのウォークインでの受け入れ。土曜深夜、1年間の受診者数が15人。1日平均0.3人もない。この少なさ、周知不足か、ハードルが高いからか、そもそも需要がないのか、どう評価されるか。

答 ニーズそのものが元々限られていた。利用件数は少ないものの、市民の安心感を担保できる点において、意義のある制度であると評価している。



日本共産党



とのむら みねよ
殿村 峰代 議員



地域包括ケアシステムは 絵に描いた餅か松阪の未来を問う

問 地域ケアシステムは高齢者を対象として構築された仕組み。高齢者介護分野ですでに人材不足が深刻化する中、さらに対象を拡大する地域社会共生社会をどう人的・財政的基盤で支える考えか。

答 相談支援体制の充実とサービス提供体制の維持などの施策を一体的に進めるとともに、従来から要望している介護職員などの確保・定着に直結する賃金等の処遇改善を国費により図るなど市長会を通じて引き続き国へ要望する。

問 介護保険制度の持続可能性を理由に、市民負担を容認するのか、国庫負担を求めるのか。

答 国庫負担率の見直しも国へ要望する。

平時からの女性トイレの備え 公共トイレ数や生理用品配備

問 男性用のトイレ個室。松阪は男性の困ったには対応。女性の困りごと。トイレ内への生理用品の常時設置を考えるか。

答 公共施設トイレの日常的な配備は現時点で実施しない。より効果的な支援のあり方に必要に応じた対応を行いたい。

問 男女共同参画プラン中間案。女性トイレの問題の追記意向はあるか。

答 現時点で決定していない内容は記載の予定はない。

意見 新しいプラン、作った瞬間から古い計画にならないように。



公明党



おくで こ
奥出 かよ子 議員



補聴器購入助成・ごみ出し支援 ・認知症対策を

問 補聴器補助の見解は。

答 国・県との施策、役割分担などの課題を整理し、調査研究を進めていく。

問 補聴器購入費助成は、社会参加の継続、認知症予防、健康寿命の延伸、医療費削減など、多面的な効果、期待がある。本市の導入に対する見解は。

答 近隣市町の動向も見ながら、事業の優先順位を見極め、調査研究していく。

問 ごみ出し困難の声を市は把握しているか。

答 高齢により身体的にごみ出しが難しくなってきた、自動車の免許を返納したといった理由で、ごみを取りに来てもらえないかといったようなお話はある。

問 市民アンケートを実施し、実態に即したごみ出し支援の拡充を検討すべきではないか、市の見解は。

答 清掃部局と連携し、状況把握に努めていきたい。

問 認知症になっても住み慣れたこの松阪で安心して暮らし続けられる想いは。

答 認知症施策推進計画を通じて、認知症の方やご家族の皆さんの声を真摯に受け止め、きめ細やかな施策を進めていく。

意見 固定資産税の増額で更地にできないとの声をきく。令和3年から5年度の期間に市がしていた支援の復活を。



その他の質問

・空き家問題を安心して相談できる体制を

至誠会



まつばら りほ
松原 里穂 議員



子どもの命を守る救急処置の普及

問 園から救急搬送などの件数は。またヒヤリ・ハットとして、年間どれほどの報告数になるのか。

答 救急搬送の件数は令和6年度11件、令和7年度6件。救急搬送には至らない事案は令和6年度に82件、令和7年度104件。ヒヤリ・ハットは三雲北こども園を例に37件。

問 事故発生時の初動対応が重要。保育士に対する救命対応訓練や保護者に救命救急知識を。まずは総務省消防庁などの既存動画を活用する考えは。

答 職員の知識と技術の向上に努めている。既存動画を母子健康手帳交付時の松阪市子育てガイド&たまひよプラン内に二次元コードを掲載していく。



ベビー用品無料レンタル事業

問 物価高騰の影響で購入費用は家庭に大きな負担。本市のベビー用品リユースまたはレンタル事業の可能性については。

答 松阪市社会福祉協議会が実施しているリユース事業を市民の皆さんに知っていただくための周知徹底に注力して参りたい。

意見 関係団体と連携しより安全で利用しやすい事業となるよう要望。



公明党



おの けんじ
小野 建二 議員



指定管理でのコミュニティセンター開始へのサポートを！

問 以前提案させていただいた指定管理での運営開始がスムーズに対応できるようにとのマニュアル作成の整備はどの様か。

答 小野議員より業務手順を明文化したマニュアルの作成を提案いただいた。ご提言の趣旨を十分に踏まえ、実効性の高いものとして作成した。

指定管理を希望されている住民自治協議会におきましては、このマニュアルを活用し、準備を進め、万全の体制で指定管理へ移行できるように努めてまいります。



耳で聴くハザードマップを市の啓発媒体に導入を！

問 誰一人取り残さない防災の実現に向けて、有効なツールである「災害に備える」の冊子に耳で聴くハザードマップを導入してはどうかと提案するがいかがか。

答 防災気象情報や議員御紹介の耳で聴くハザードマップも含め、最新の防災関連情報を掲載していきたいと考える。

意見 災害では、情報を得られる人と得られない人との格差が命に直結するケースもあり、障害者の方がより活用していただきやすくなるためにも、市ホームページや、松阪ナビにおいても、耳で聴くハザードマップにリンクできるように案内等の工夫、対応の検討をお願いする。

その他の質問

- ・高齢者支援
- ・高齢者登録制度



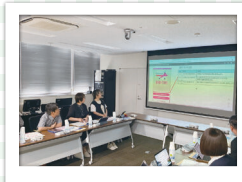
行政視察

環境福祉委員会



子育てタクシー普及支援事業・ 親子ふれあい広場等 山口県下関市(5月20日)

妊婦の移動を支える「しもまちBABYタクシー」と、親子の交流・相談拠点「ぶくみんルーム」を視察。松阪市にはないタイプの妊娠期から子育て期まで切れ目のない「移動」「相談」「交流」を組み合わせた支援体制について学んだ。



全部無料の子育て支援 大分県豊後高田市(5月21日)

人口減少対策として、経済支援(妊産婦医療・こども医療・保育料・学校給食・放課後児童クラブ等の各種無料化や出生時に最大200万円支給)とNPO連携の伴走支援を展開。ふるさと納税等の財源活用と歳出削減により年200人(人口の1%)の移住成果。



子育て支援拠点施設「こどもルーム」の 広域利用と運営状況 大分県大分市(5月22日)

大分駅前の複合施設内にある大分市の子育て支援施設「こどもルーム」を視察。親子が安心して過ごせる居場所づくりや相談体制、発達支援など多機関連携まで含めた総合的な支援体制が構築されており、子育て世代に寄り添いながら支援の充実に繋げていきたい。



松阪市議会「議員と話す会」を開催しています

松阪市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指し、情報提供と情報共有に取り組んでいます。その一環として、各常任委員会が取り組む「市政の重要テーマ」について、市民の皆さんと直接意見を交わす「議員と話す会」を開催しています。

建設水道 委員会

日 時：令和8年7月22日(水) 午後7時から
場 所：松阪市産業振興センター
テーマ：みんなで考えよう 松阪駅西



文教経済 委員会

日 時：令和8年7月23日(木) 午後7時から
場 所：松阪公民館
テーマ：子どもたちの居場所・環境づくり



総務企画 委員会

日 時：令和8年8月24日(月) 午後7時から
場 所：松阪公民館
テーマ：地区コミュニティセンターの可能性を考える

環境福祉 委員会

日 時：令和8年11月6日(金) 午前10時から
場 所：松阪公民館
テーマ：聞かせて、子育てのお困りごと





出前トーク実績&募集

通年開催が始まった「議員と話す出前トーク」、
さっそく議員が皆さんのもとに伺い、困りごとをお伺いしました！

出前トークの詳細に
についてはこちら▶▶



日 時：令和8年5月14日(木) 午後3時
場 所：松阪市福祉会館
団 体：松阪市民生委員児童委員協議会連合会
テーマ：民生委員・児童委員の現状



日 時：令和8年7月15日(水) 午後1時30分
場 所：御殿山町自治会公会堂
団 体：御殿山町自治会
テーマ：空き家について



日 時：令和8年7月21日(火) 午後1時30分
場 所：松阪市議会第1・第2委員会室
団 体：動物との共生ネットワーク
テーマ：高齢者が施設に入所・入院した場合の
ペットの現状

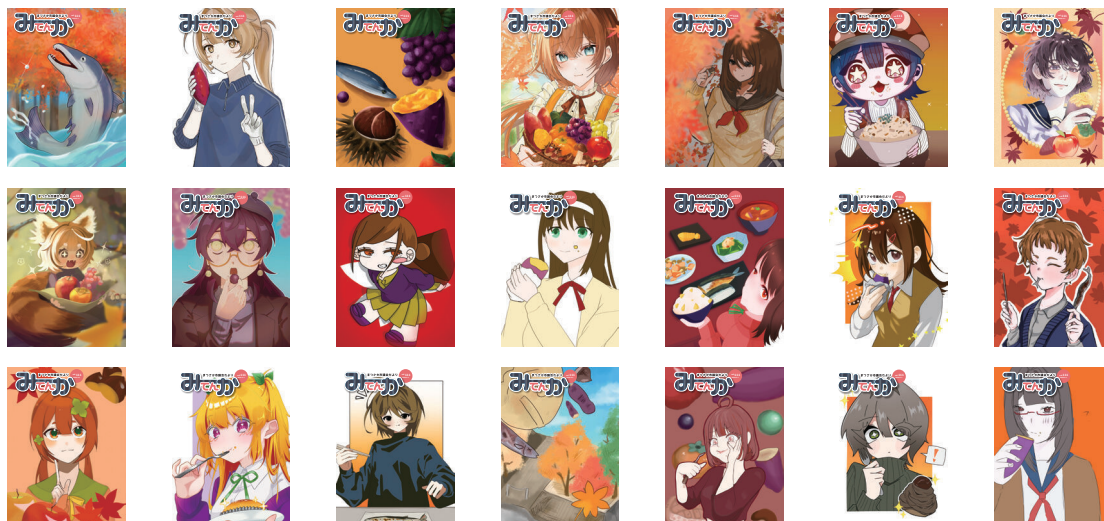


日 時：令和8年7月21日(火) 午後4時30分
場 所：松阪市市民活動センター
団 体：(公社)三重県宅地建物取引業協会松阪支部青年部
テーマ：①空き家問題と流通促進
②都市計画・法規制と不動産活用
③住宅取得・定住促進と子育て支援



議会は皆さんの声や日頃の困りごとを、一緒に考えて、政策へつなげたいと思っています。

表紙に採用された作品以外にも、松阪工業高校漫画研究部からたくさんの
作品をいただきましたので、ご紹介させていただきます。皆さまありがとうございました！



議会をもっと身近に!

「議場ツアー」を開催しました

市議会では「開かれた議会」を目指す取り組みの一環として、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただくため7月31日に議場ツアーを実施しました。

当日は午前・午後合わせて22名の方々にご参加いただき、議場や委員会室を見学していただきました。また、議会の仕組みを楽しく学ぶ議会クイズ也大いに盛り上がりました。議長室での懇談では、議長・副議長・広報広聴委員と和やかな雰囲気の中でお話いただき、最後には参加者全員に認定証をお渡ししました。

市議会では今後も市民の皆さまに開かれた情報発信に取り組んでまいります。いつでもお待ちしております。



9月号の表紙

作品名: 「秋の始まり」 松阪工業高校1年・北村 梓恩^{しおん}

秋の味覚と言えはなんだろう、と、描きながら秋といえばこれでしょという食べ物をキャラクターに隠し要素として含めました。

セーターに焼き芋、瞳の中に小さな栗、ピアスに月見のだんご、指輪に秋刀魚を描きました。見ている側もただ見るだけでなく詳しく見ることで秋の食べ物を見つけることができる遊び心を加えてみました。

令和8年11月定例会の開催日程

会期
22日間

11/16	月	議会運営委員会
24	火	本会議(議案上程・提案説明)
30	月	本会議(議案質疑・委員会付託)
12/2	水	本会議(一般質問①)
3	木	本会議(一般質問②)
4	金	本会議(一般質問③)
7	月	本会議(一般質問④)
8	火	委員会(環境福祉・文教経済)
9	水	委員会(総務企画・建設水道)
15	火	本会議(議決)

本会議は市役所3階市議会議場で、
委員会は2階市議会委員会室で、
いずれも午前10時から開催します。
皆さんの傍聴をお待ちしております。

編集後記

本会議での質疑や委員会活動が活発になってきました。その熱意をすべて誌面でお伝えすることはできませんが、少しでも議会への理解を深めていただければ幸いです。

松阪市議会初の試み「議場ツアー」にご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。これは市民の皆さんに議会を身近に感じていただくための新しい企画です。今回ご都合のつかなかった皆さんも次回ぜひご参加ください。

楠谷さゆり

9月になっても残暑が厳しい折、皆さん体調を崩されていませんか。

今号は、6月定例会における本会議や委員会での審議結果を中心に編集いたしました。市民生活に関わる諸予算や競輪事業などの議論の要点を分かりやすく掲載しております。

少しでも身近な議会だよりとなるよう、今後も工夫を重ねてまいります。

松本一孝

議員の素顔をさらけ出す!

「1番泣けた or 笑った映画は何ですか？」

一問一答

議場では見られない議員の素顔に迫る本企画。今号も「議員って普段どんなことをしているの?」という皆さんの疑問にお答えすべく、議員の意外な一面をご紹介します!もし共通点を見つけたら、街で見かけた際にぜひお気軽にお声がけくださいね。



まつばら りほ
松原里穂

至誠会

「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」。主人公が感情や人の心や言葉を理解しようとしていく姿に心震わされた。



さかい ゆみ
酒井由美

市民クラブ

一番泣けた映画は「はだしのゲン」。広島県出身として、平和を考える原点になった大切な作品です。



もりもと てつお
森本哲生

会派に所属しない議員

昔の「はぐれ刑事純情派」を楽しんでいます。犯罪者に厳しさと思いやりのドラマにほのかな思いが……。



もり はるか
森遥香

至誠会

「スタンド・バイ・ミー」。戻れないあの夏と、リヴァー・フェニックスの早すぎる死が重なり、今も切ない。



のろ かずひら
野呂一平

至誠会

大好きな新海誠監督の「君の名は」。美しい世界観に引き込まれとにかくたくさん泣いた忘れられない映画。



おがわ ともこ
小川朋子

会派に所属しない議員

「君の膵臓をたべたい」。原作を読んでいたのが最初から胸がいっぱいに。命の尊さと生きる力をもらいました。



おの けんじ
小野建二

公明党

1番笑った記憶にある映画として、思い浮かんだのは、1986年頃のトム・ハンクス主演の「マネーピット」です。



おくで こ
奥出かよ子

公明党

「火垂るの墓」。戦争が子どもたちの日常や命を奪う現実、そして人と人との支え合いの大切さを問いかける作品。



よしかわ あつひろ
吉川篤博

市民クラブ

「室井慎次生き続ける者」。踊る大捜査線のスピンオフ映画で、室井さんの最後のシーンは涙無しではられない。



たちばな だいすけ
橘 大介

市民クラブ

「A.I.」。AIが進化した今だからこそ、時代を先取りしたような作品でした。



まつもと かずたか
松本一孝

政風会

泣けたのは「永遠の0」。笑ったのは「ハングオーバー」。



あかつか
赤塚かおり

政風会

「バック・トゥ・ザ・フューチャー」が大好きです。時を超えた大冒険に心躍り何回観ても笑顔になれる映画です。



いのむら みねよ
殿村峰代

日本共産党

「ジョニーは戦争に行った」。学生の時これを観て、この主人公は本当にいたに違いないと大泣きました。



いちの ゆきお
市野幸男

政風会

「国宝」。伝統継承の覚悟と情熱に深く感銘を受け、人間のもつ泥臭さと日本文化の奥深さ、力強さを実感。



たなか まさひろ
田中正浩

会派に所属しない議員

最近1番泣けた映画は「Dr. コトー診療所」です。



くすたに
楠谷さゆり

市民クラブ

「憧れを超えた侍たち」。WBC 2025に再び感動の涙。「劔岳 点の記」。初登頂をめざす男たちに涙、涙。



にしぐち まり
西口真理

会派に所属しない議員

「ストリート・キングダム 自分の音を鳴らせ」。最近の映画だけど、今までで一番映画館でリピートした。



よねくら よしちか
米倉芳周

政風会

美しい描写と残酷な現実が矛盾する「火垂るの墓」。戦争の悲惨さと兄妹愛の深さに涙が止まらなかった。



ふかた りゅう
深田 龍

至誠会

「グッドウィルハンティング」。青年が葛藤し、大人への第一歩を踏み出す映画。個人的にも影響を受けました。



おき かずや
沖 和哉

至誠会

ロビン・ウィリアムズの「いまを生きる」。自分の学生時代と重ね合わせて、人生の指標になった作品でした。



やまもと よしひろ
山本芳敬

政風会

「火垂るの墓」。戦争の悲惨さの中、両親を失った幼い兄妹の生きぬこうとする姿に涙が溢れました。



はまぐち たかし
濱口高志

至誠会

「幸せの黄色いハンカチ」での高倉健さん。あんなにビールを美味そうに飲む人を、今まで見たことがない。



かいじゅう つねゆき
海住恒幸

会派に所属しない議員

泣けた笑った一番は「蒲田行進曲」。松坂慶子・風間杜夫・平田満が歌うレトロなテーマ曲も耳から離れない。



ひさまつ みちお
久松倫生

日本共産党

松本清張の原作で橋本忍脚本の「砂の器」は社会と人それぞれの内面を浮き彫りにした涙する一作でした。

発行 松阪市議会

編集 広報広聴委員会

お問い合わせ ▶ 松阪市議会事務局

〒515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1
電話 0598-53-4433 FAX 0598-23-3962
Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp



UD FONT

見やすく読み間違えにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。